

令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

令和7年8月

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

3 調査期日 令和7年4月17日（木）

4 調査結果 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
生活習慣や学校環境に関する質問調査

【小学校】

教科	対象児童数	全国 (公立)	広島県 (公立)	府中町	県平均 との差
国語	507	66.8	69.0	72.0	+3
算数	508	58.0	59.0	63.0	+4
理科	508	57.1	59.0	64.0	+5

【中学校】

教科	対象生徒数	全国 (公立)	広島県 (公立)	府中町	県平均 との差
国語	370	54.3	55.0	56.0	+1
数学	371	48.3	47.0	49.0	+2
理科※1	379	503	495	495~504 ※2	+4

※1 中学校の理科は、今年度から一人1台端末を使いオンラインで出題・解答する方式（CBT）を導入した。問題の難易度や生徒の学力に応じた新たな基準で数値（IRTスコア）を算出しており、500を基準として表されている。

※2 県HPでは、10点刻みのIRT平均スコアで表されている。

- ・小学校は、いずれの教科も全国平均及び県平均を上回った。
- ・中学校は、国語、算数において全国平均及び県平均を上回った。理科については、県平均は上回ったが全国平均は下回った。